

里山林における在来種保全活動

—特定外来植物(オオハングソウ) 抜取の継続実施—

活動地域  東京都、長野県

つづける助成

3年目

実践

環境調査実施

12回

抜取作業実施

8回

今年度計画の達成度

80%

目標達成度

70%

オオハングソウ(オオハングソウ属)



ヤエザキハングソウ(オオハングソウ属)



コドラート調査(植物)地点(抜取作業エリア)



アレチウリの種子

森内で確認されている特定外来植物

課題

在来植物が自生する中山間地の里山林に特定外来植物が侵入しはじめ、域か所で群落化している。在来植物保全のために、持続的な抜取作業による制御が必要である。

目標

- 森内の特定外来植物・在来種の状況を把握する
- 在来生物・生物多様性・里山の自然環境保全・森林生態系についての理解を地域に広げ、保全への意識を高める

活動内容と成果

- 森林内全域に点在する特定外来植物オオハングソウ属の位置をGPSにより記録し森林全域の侵入状況を把握、またこの地域での生活史、繁殖形態についての情報収集を行った。合理的な計画を作成し今後の抜取作業に反映、森全域の制御をめざす
- 調査過程で多数の在来植物、生物も記録できた。調査結果は今後の森林保全活動や普及啓発活動に活用する
- 新型コロナウイルス禍の影響により観覧会等のイベント開催が困難な状況が長期に続いたが、調査への個別見学、森内案内の動画作成と希望者への配信等、工夫しながら情報発信に努めた



地元住民も同行しての生物調査

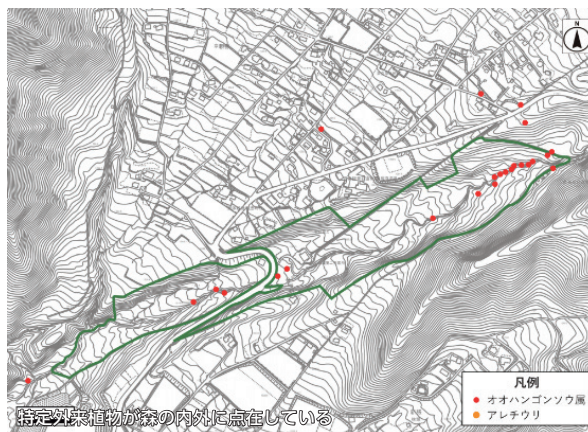
苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

- オオハングソウ属は栄養繁殖も行い、抜取り後に残したわずかな根からも翌年発芽する
- 同じ種でも周囲の環境により根の成長形態が異なり抜取方法に工夫が必要

■ 工夫した点

- 調査員と協働、環境の異なる地点を10か所選定しコドラートを設置。根の形態を記録
- 根の形態にあわせて抜取作業の方法を工夫。翌年度各地点での発芽状況を比較した



特定外来植物が森の内外に点在している

全助成期間の活動を振り返って

- 調査員による生物調査の結果、植物以外の鳥類、哺乳類なども多種生息・繁殖あるいは往来し、野生動物の生息・避難場所となっていること、外来種の侵入は限定的であることを確認した
- 東日本台風で被災し調査地点のほぼ全域が流出、再調査を余儀なくされた。さらに新型コロナウイルス禍の影響で2年間イベント開催が中止となり、自然環境調査については計画どおり実施できたが地域住民への普及活動はほとんどできず、今後の課題である。

〒144-0043
東京都大田区羽田1-1-3
電話：03-5737-2744
HP：http://www.save-earth.or.jp/



今後の展望

- 絶滅危惧種を含む在来種保全のため、特定外来植物の抜取作業を継続する
- 自然環境調査報告書や調査の過程で記録目的で撮影した写真データを、地元住民や関係機関等とのコミュニケーションや情報発信のツールとして活用する
- この森を繁殖地とする、また餌場・通行に利用する生物にとっての生息地・避難場所として保全していく。また、森林生態系や生態系サービスに関する普及啓発活動のフィールドとして活用する